



木の駅しんごう・オープン初日の様子
(平成28年6月18日)

目次

◆ご案内

- 相続による名義変更について
- 三八森林まつりの日

◆トピックス

- 通常総代会
- 木の駅しんごう開設
- 三八森林まつり
- 活樹祭

- 能力評価システム導入に向けて
- 林業人野球大会
- 森のめぐみ展(県産材フェア)
- 意欲ある攻めの農林水産業賞
- マンション・ウッド・リノベーション協議会
- 白山台小学校社会科授業

◆お知らせ

- 森林病虫害について

お知らせ

相続による名義変更および 脱退届について

相続による名義変更は、相続者本人の確認が必要となります。お手数ですが、相続開始後90日以内に、戸籍謄本あるいは除籍謄本、印鑑をお持ちください。組合から脱退する時も同様ですので、ご注意ください。(定款10条より)

11月3日文化の日は、 三八森林まつりの日

毎年「三八森林まつり」を開催していますが、年々、このまつりを楽しみにしてくれているお客様も増えているため、これから、11月3日文化の日を「三八森林まつりの日」にしたいと思っています。

トピックス

平成28年6月30日、三戸町「ジョイワーク三戸」にて、通常総代会を開催し、出席した総代数147人、書面議決36人、代理人出席6人の計189名の出席者のなか、議案第1号から議案第7号まで承認いただきました。今年度も組合員の皆様とともに、未来につながる森林づくりを心掛けていきます。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

第14回通常総代会



通常総代会の様子



オープニングセレモニーの様子
(平成28年6月18日)

青森県では初、全国で70番目の木の駅が新郷村に開設されました。多くのマスコミから注目される中、初日の出荷者20名以上の木材を積んだ軽トラックが並ぶ姿は圧巻でした(表紙写真参照)。
10月現在の出荷登録者(新郷村に森林を有する者)は73名、10月までの出荷総材積は約310(立方メートル)となり、開設時から現在まで、予想を超える賑わいとなっています。

木の駅・しんごう開設

「林野火災」みんなで守る森林資源

近年、出火原因の分からない林野・枯草火災が相次いで発生しております。ひとたび火災が発生すると乾燥や強風などの気象条件により、火災範囲が広範囲にわたり甚大な被害をもたらします。組合員の皆さまにおかれましては、不審火に注意し、もし発見したらすぐに119番してくださいますようお願いいたします。

三八森林まつり

11月3日文化の日、本所(五戸)にて、三八森林まつりを開催しました。

木製のジャングルジムや積み木遊び、丸太切り大会、木工や積み木づくりなどの体験を盛りだくさんに用意しました。また、お馴染みのチェンソーアートの技術に触れ、出来上がった作品の販売は大変人気でした。日頃チェンソーを使う方を対象に、あらためて手入れの仕方の講習会も開催しました。会場は、薪ストーブやペレットストーブの煙に包まれ、温かい雰囲気の中、来場者は321名と大変賑わいました。

このまつりのコンセプトは、木の香り、ぬくもり、肌触りを感じてもらい、木の持っている魅力をあらためて知ってもらうことです。そして、木に触れることによって、いずれ森林にも関心が広がっていくことでしょうか。そういった機会をつくっていききたいと思っております。

トピックス



製材品コーナーの様子



チェンソーお手入れ講習会の様子

活樹祭 in 新郷



(平成28年9月2日)

「活樹祭」は、植樹・育樹に続いて樹を活かすという目的のもと、「緑の募金事業」として国土推進機構の助成を受けて、昨年度に続き2回目の開催となりました(主催・三八みらいの森づくり協議会)。

今年も新郷村の小学生を対象に、間伐体験では木の成長とともに、自然とのかかわり、そして育った木をどう活用するのかを体験を通して考えました。その後、木の駅での取組みから温泉館の薪ボイラーまでの木材の活用の流れを皆さんにあらためて知ってもらう機会を設けました。

子供達が生まれ育ったふるさとには、こんなに豊かで貴重な資源がたくさんあります。ふるさとの誇りを忘れないでほしいですね。

トピックス

能力評価システムの導入に向けて

林野庁からの助成を受けて、昨年度から専門家を迎えて能力評価システムの導入に向けて準備しています。

10月27日は、全職員対象に、来年度導入に向けたテスト評価および管理者への説明会を実施しました。

個々の能力を評価してモチベーションの向上を図り、今後更なる組合の発展を目指します。



平成28年10月27日

林業人野球大会

七戸総合運動場で行われたこの大会。チーム三八森組は3連覇を目指して挑みましたが、惜しくも準決勝で敗れ、3位という結果となりました。野球を通じた親睦が目的ではありますが、来年は奪還を目指してがんばります。



平成28年10月10日

森のめぐみ展（県産材フェア）

今回で6回目となった「森のめぐみ展 in はっち」では、一般の来場者の皆さんに、木の魅力や森のめぐみをあらためて知ってもらう機会として、県民局、家を建てる会などが主催となって行われてきました。

当組合からは、積み木やジャングルジム遊び、木工体験、含水率や強度計測の実演、地域材の炭の販売などを行いました。

そのほか会場では、薪ストーブ、ペレットストーブの展示、講演会、チェンソーアート、林業ウェアファッションショーなどイベント盛りだくさんで大賑わいでした。

例年どおり大勢の来場者に木の魅力、森林のめぐみを伝えることができ、大変有意義な機会となりました。



11月5日、6日（はっち）

トピックス

意欲ある攻めの農林水産業 奨励賞を受賞しました

平成28年度の「意欲溢れる攻めの農林水産業賞」に、当組合のほか、上北森林組合と八戸市森林組合の3組合で、西白山台小学校への地域材活用の取組について応募し、見事、奨励賞を受賞することができました。これまで林業・木材産業からはじめての応募だったなか、この取り組みが評価されたことは、今後につながる大きな一歩になったと確信しております。

マンションウッドリノベーション 試作品が完成しました

昨年10月からからはじまった「青い森マンションウッドリノベーション協議会」は、東京の不動産会社、NPO法人などが中心となつて、青森の地域材を使って関東地区のマンションのリフォームを行うという趣旨のものであり、当組合のほか、林業研究所、家を建てる会、八戸市森林組合などが参加して、そのモデルとなる試作品をつくりました。

この試作品は、森のめぐみ展ではじめてのお披露目となり、大変注目されました。今後は、商品化に向けてさらに改善を加えていく予定です。地域の木材が関東地方で使われるとでも良い機会となりそうです。



地域材アカマツを使った試作品

白山台小学校で社会科授業

来年度開校予定の西白山台小学校は、「南部あかまつ」などの地域材をふんだんにつかった校舎となりますが、その小学校に入学予定の白山台小学校5年生を対象に、社会科授業のなかにある「森林・林業」を題材に公開授業が行われ、木材加工販売部長の工藤と総務部の渡邊技師がゲストとして招かれました。

天然林と人工林の違い、木を伐るといふことの意味、そして森林はいろんな働きがあるということを学びました。生徒さんからの質問も多く、大変熱心に聞いてくれた生徒さん達に感心しました。生徒さん達が新しい校舎に移った時に、そこに使われている木材の感じ方がきつと変わることでしよう。未来の森を育んでいく子供達と接する良い機会となりました。



10月26日の授業の様子

お知らせ

森林病虫害について

9月下旬、県森連主催の森林病虫害現地視察研修会に参加し、宮城県松島町、石巻市を訪れました。日本三景の一つである特別名勝「松島」では、松くい虫の被害が甚大であり、その被害が島々にも広がっています。海岸の景観をつくっているアカマツやクロマツの保護をするため、行政が中心となって対策を実施しています。現在、松くい虫被害は徐々に北上し、岩手県北まで来ているとされていますが、松くい虫は寒さの耐性に弱いこと、そして被害があったとしても迅速かつ適切に処理することで、被害を食い止めることができます。

また近年、青森県でも「ニホンジカ」の目撃情報がありますが、この視察先では、森林内の下層に植物がまったくなく、森林破壊につながる深刻な状況でした。スギなどの苗木も食害にあってしまうため、電気柵やシェルターで苗木を守るなどして、多額の費用が必要となる危機的な状況でした。

このような「森林病虫害」の状況のなか、情報収集に努める等、持続可能な森林経営が可能となるよう、精一杯対応します。被害を発見された場合は、組合までお知らせください。

皆様のご協力、よろしく申し上げます。

(記:総務部 渡邊)



植林地の周囲に設置されたシカ避け防護柵



松くい虫被害を受けている松島・福浦島

お問い合わせ先

事業所	主な管轄区域
本所・五戸川流域支所(木材加工センター) TEL.0178-67-2003 FAX.0178-61-8639	五戸町 新郷村
五戸川流域支所新郷事業所(木材加工センター) TEL.0178-78-2013 FAX.0178-78-3159	
馬淵川流域支所(木材共販センター・木材加工センター) TEL.0179-22-2615 FAX.0179-23-4057	南部町・三戸町 田子町
新井田川流域支所 TEL.0178-83-2410 FAX.0178-83-2478	階上町 八戸市南郷

編集後記

組合員の皆様におかれましては日ごろから大変お世話になっております。本広報「さんばち森林」の発行も本号で5回を数え、年2回の発行としております。最近の森林・林業、そして木材産業の動向等の情報、ならびに当組合の活動をできる限り発信していくことで、皆様により身近な存在になっていけるようにと願っております。ご質問やご要望など、何なりとお申し付けくださいませ。次回に繋げていければと考えております。